第 24 愛媛大学教職員作品展企画　「気軽に俳句を詠んでみよう」

学長賞　特選（10 句）

番	句	学校／所属	氏名
1	とどいたかなうちあげはなびばあばにも	附属小学校　一年	岩田朋樹
2	えにっきとしろいうわぐつしんがっき	附属小学校　一年	桝鏡結恵
3	ぎゃくてんのシュートの上にかかるにじ	附属小学校　二年	亀岡隼生
4	あちちちち入道雲の重ねもち	附属小学校　三年	大塚崚輔
5	宿題をやれやれやれと蝉しぐれ	附属小学校　五年	川九　新
6	朝顔をコップにさして朝ごはん	附属小学校　五年	大塚彩瑛
7	赤とんぼぼくのぼうしの置きかざり	附属小学校　六年	中畑魁音
8	ほおづえは夏の課題の５７５	附属高等学校　一年	髙岡智哉
9	ソーダ水十七歳の恋の音	附属高等学校　二年	玉乃井佐綾
10	ホームラン入道雲につきさされ	附属高等学校　二年	重松慶伍

入選（30 句）

番	句	学校／所属	氏名
1	ざりがにがパーティしてるいけのなか	附属小学校　一年	矢野咲良
2	ともだちのこえがたよりだすいかわり	附属小学校　一年	山住理月
3	トマトのみ赤くなれなれ水をやる	附属小学校　二年	松本いろは
4	たたみのまそぼとおとまりあしもわらう	附属小学校　二年	浦辻弥織
5	おさんぽでとつぜんヘビとにらめっこ	附属小学校　三年	徳岡　葵
6	あじさいの葉に雨宿りモンキチョウ	附属小学校　四年	杉之原斗眞
7	にじ色の大きい花火わらってる	附属小学校　五年	小島　奏
8	カブトムシ子供のように世話をする	附属小学校　六年	髙野瑛翔
9	けいたいとペンの間に夏課題	附属小学校　六年	向井雅人
10	帰り道少しより道桜見る	附属小学校　六年	藤井双葉
11	夏終る夏とは違う波の音	附属小学校　六年	平田恕大
12	遠くきく花火の音とつるかめ算	附属小学校　六年	杉之原拓斗
13	光るつぶ雲のなみだがあじさいに	附属小学校　六年	本城歩実
14	台風一過祖母に見せたる初打席	附属高等学校　一年	岩本太陽
15	今は無き秘密の抜け道夏帽子	附属高等学校　一年	上田侑祈
16	夏の空色とりどりの絵の具箱	附属高等学校　一年	中道沙羅
17	ヒロシマやまだ生きたいと蝉時雨	附属高等学校　一年	正岡桃奈
18	夏の雲こいでもこいでもついてくる	附属高等学校　一年	山田未夢
19	「久しぶり」サイダーに君の声溶ける	附属高等学校　一年	河野　鈴
20	にているようですこしずつちがうセミの声	附属高等学校　一年	田中晴朗
21	放課後の会話花咲くかき氷	附属高等学校　一年	渡部早依

22	鰯雲そこから何が見えますか	附属高等学校 二年	祖母井七美
23	サングラスどう生きようか将来を	附属高等学校 二年	洲之内菜名子
24	夕闇やひぐらし鳴くなまだ鳴くな	附属高等学校 二年	矢野統万
25	ラムネびん君の心が見えたらなあ	附属高等学校 二年	井上京香
26	争いも血も空は見ていた終戦日	工学部	松本かおり
27	空蝉や魂のゆくえ空高く	工学部	松本かおり
28	けむしおるかなねこちゃんおるかなはるのみち	附属高校 （家族）	三浦紗和
29	さくらのはなびらいれとるけんおぼうしかぶれません	附属高校 （家族）	三浦紗和
30	秋の風まっすぐな道一人じめ	附属高校 （家族）	三浦弘太郎